

令和8年2月26日

優郷の学び舎  
世田谷区立弦巻小学校  
学校運営委員会 委員長 久米 朋子 殿  
学校長 福留 修一 殿

学校関係者評価委員 委員長  
大澤 光治

## 令和7年度 学校関係者評価委員会報告書

世田谷区立弦巻小学校学校関係者評価委員会では、更によりよい教育活動が展開されるよう、外部アンケート（共通項目・独自項目）及び学校自己評価点検をもとに、本年度の教育活動全般を評価し、次年度の改善に向け、本報告書を作成しました。学校及び学校運営委員会に報告致します。

### 1. 評価資料概要

#### 【学校関係者アンケート】

- 対象 保護者・児童（5, 6年）・地域
- 調査実施日 令和7年10月28日（火）～11月10日（月）

Webによるアンケート

- 回答数 児童 201件  
保護者 359件  
地域 14件

#### 【学校自己評価点検（教職員アンケート）】

- 対象 本校全教員

### 2. 学校関係者評価考察

#### ① 「かしこい子ども」の育成について

まず「学ぶことが楽しい」と回答した児童が、昨年度75%から80%に向上したことは先生方の日頃の指導の工夫があってのことだと思う。来年度も引き続き、より多くの児童が弦巻小学校で楽しく学習できるようにしてほしい。

「めあてを持って学習する」「話し合う・発表し合う」「タブレット端末を使っての学習」などの設問については、児童の肯定的割合が高かった反面、それぞれの設問で10～20%の保護者が「わからない」という回答している。運動会や音楽会など、大きな行事については家庭で話に上がることは多いと思うが、普段の国語や算数などの授業のことについては、家庭であまり話題になっていない可能性がある。学校公開や学校HPを活用しながら、普段の学習の様子を伝えていただき、それを家庭で話すきっかけにしてほしいと思う。以前、学校の宿題で、保護者にインタビューするというものがあった。一緒に宿題に取り組むことで、日頃の授業について話すきっかけになったことがあった。時には保護者も巻き込む学習を設定するののも一つの方法ではないだろうか。

読書について、児童の「読書が好き」の肯定的回答が55.6%、保護者の「家で読書をしている」

の肯定的回答が46.2%、と他の項目に比べ低いことが気になった。タブレット端末等が導入され、読書の時間が少なくなっているのではないか。子どもだけでなく、大人であっても読書よりもスマートフォン等を使う時間が多くなっている。何かを調べたり情報を得るにも、書籍からよりも手軽にネットで動画等を視聴して得ることの方が多し。学校ではタブレット端末を活用しながら、本や図書館を活用した授業もバランスよく行って、それぞれの良さや読書の楽しさを児童が実感できるようにしてほしい。

## ② 「やさしい子ども」の育成について

児童アンケート「学校のきまりを守って生活している」の肯定的回答84.8%、保護者アンケート「家での約束やルールを守っている」の肯定的回答90.2%、地域アンケート「交通ルールや施設の決まりを守って生活している」の肯定的回答100%と共通して高い数値になっている。子どもたちは学校、家庭、地域とそれぞれの集団生活の場できまりやルールの大切さを理解して過ごしていることがわかる。また児童の「係や委員会などの自分の仕事を責任もって行う」の肯定的回答が95.9%と高いことから、協力して学校生活を送っていることも読み取れる。

児童アンケート「クラブや異学年交流で他の学年の子と仲良くする」の数値は良好であるが、保護者アンケート「(子どもは)放課後や休日、異学年で遊ぶことがある」が59.1%と児童回答に比べて低い。弦巻小学校を取りまく環境としては、公園や児童館もあり、習い事、学校のスポーツ団体など、放課後や休日に異学年で関わる機会が比較的持ちやすい地域・学校ではないかと思う。学校でも異学年で関わる活動を更に進め、「やさしい子ども」の育成に努めてほしい。

## ③ 「たくましい子ども」の育成について

キャリア教育について児童アンケート「自分の生き方や将来について考える授業がある」が74.9%の肯定的回答(昨年度68%)、保護者アンケート「子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている」が51.3%の肯定的回答(昨年度40%)と、全体的数値が向上した。これらの結果から、児童・保護者にキャリア教育が浸透してきていることがわかる。一方、依然として、保護者の26.5%が学校のキャリア教育について「わからない」と回答している。保護者全体の約1/4程度はまだキャリア教育が伝わっていないことからキャリア教育について、引き続き継続的に伝えていくことが必要である。

体をつくる食育について、保護者アンケートから学年が上がるに伴い、食べ物の好き嫌いが少なくなってきたことがわかる。クラスの仲間と一緒に楽しく給食の時間を過ごし、友達が美味しそうに食べているのを見て、少しずつ苦手なものも口にできるようになるのではないか。楽しい雰囲気の中で、食に興味を持てるように引き続き取り組んでほしい。

以上である。今回はアンケート項目が見直され、一つの質問項目に児童・保護者・地域のそれぞれ回答いただく形となった。3つのアンケートを分析し課題としていくつかあげさせていただいたが、弦巻小学校の教職員の皆様が日々、子どもたちのために指導されていることがわかる。来年度についても引き続き継続した取り組みをお願いしたい。